

安全登山のコツ 遭難時の天気と低体温症を知る

楽しい登山のためのやさしい天気教室。
登山者をおそう疲労凍死のきっかけに焦点をあて、寒いとき危ないときのアドバイスを「中高年の登山学」の岩崎元郎さんにお聞きします。昨年までの遭難は低体温症による疲労凍死がその多くを占めています。登山者に分かりづらい症状や装備の持ち方など、ベテラン登山家のサバイバルテクニックを学びます。

気象予報士から、登山に必要な天気の予想、風や雨の読み方のコツを解説します。遭難時に考えられる風の強さや、雨を降らせる前線をやさしい言葉でつたえます。

さあ、夏山シーズンに向けて「安全登山のコツ」を登山計画に盛り込みましょう。会場では山岳気象情報の上手な使い方もあわせて解説致しますので、山に登る前の下準備に皆様どうぞお誘いあわせておいで下さい。

講演日程

平成15年6月9日(月) 13:30~16:30
(開場:12:30)

会場

東京プリンスホテル マグノリアホール
東京都港区芝公園3丁目3番1号
東京都港区御成門駅下車 定員300名

講師

- (講師)
- ・岩崎 元郎 (無名山塾主宰)
 - ・宮部 二郎 (株式会社ウェザーニューズ 気象予報士)
- (コーディネーター)
- ・横須賀 邦子 (NPO 法人アース・ウインド代表)

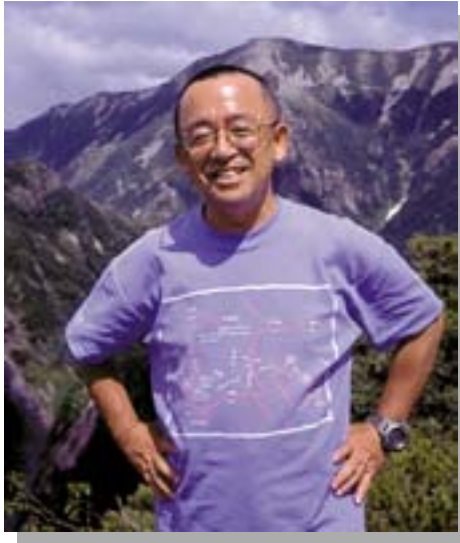
資料代

お一人様500円

お申し込み方法

FAXによる事前受け付け。
参加される方のの氏名、性別をお知らせください。

講師・コーディネータープロフィール



講演：「僕の悪天体験と対策」 講師：岩崎 元郎

1945年、東京生まれ。NHK教育テレビ「中高年のための登山学」元講師。登山インストラクター。1981年ヒマラヤ・ニルギリサウス峰登山隊隊長として参加。「無名山塾」主宰。「遠足倶楽部」主宰。日本登山インストラクターズ協会理事長。「日本登山大系」「日本百名山」編者。



講演：「遭難時の風を読む」 講師：宮部 二郎

1951年、熊本生まれ。1975年、仲間4人とヨットで太平洋横断に成功。1976年、株式会社ウェザーニューズの前身のオーシャンルーツに入社、防災気象情報、海洋気象情報などを立ち上げる。2000年1月～12月の1年間、テレビ朝日系列「ニュースステーション」の気象番組枠に出演。

山の天気教室の項目

- (Q1) 前線とは何？前線が来るとどうなる。過ぎるとどうなる。
- (Q2) 風はどこからやってくる？
- (Q3) 高気圧とは何？高気圧が来るとどうなる？過ぎるとどうなる？
- (Q4) 天気図に書かれていない現象
- (Q5) なぜ平地より山の方が先に天気が崩れ、遅く回復するのか？
- (Q6) 体感気温とは

横須賀 邦子 (コーディネーター)

1951年、東京生まれ。社団法人日本山岳ガイド協会公認山岳ガイド。エコツーリズムを考える会運営委員。山のトイレを考える会代表。ヒマラヤ・北海道の山岳ガイドとして年間200日活動。山岳環境保全団体、NPO法人アース・ウインド代表。

